

ようこそ 横須賀バーチャル 歴史・未来館へ

さて横須賀バーチャル歴史・未来館の展示内容について、紹介します。

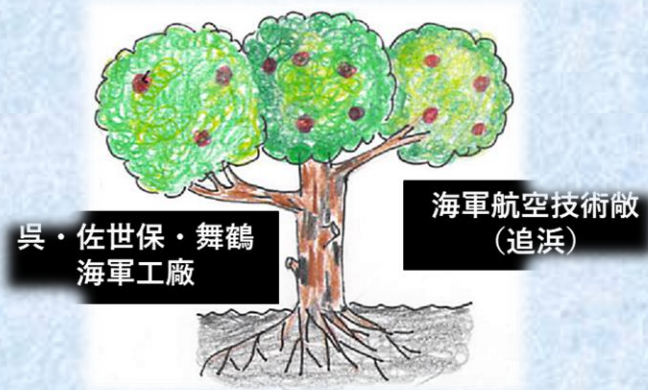
まだまだ不十分ですが、色々ご意見をいただき、より良いものに作りあげて行きたいと思います。



成長した
横須賀製鉄所



横須賀造船所時代



横須賀海軍工廠

呉・佐世保・舞鶴
海軍工廠

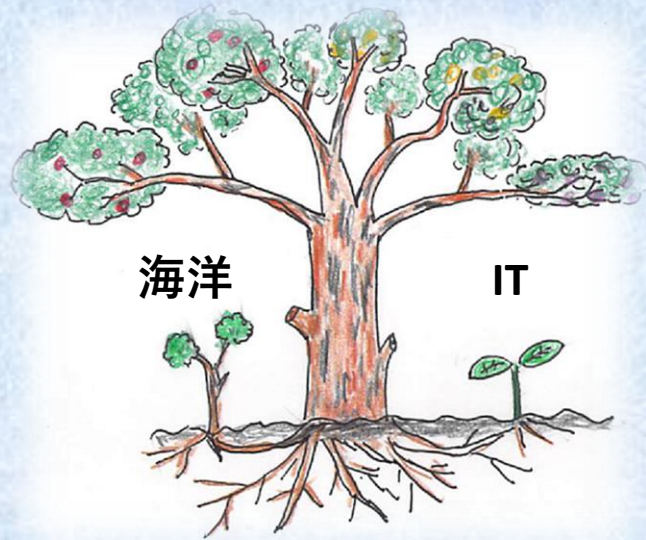
海軍航空技術廠
(追浜)



敗戦



戦後の復興



海洋

IT

現在から未来へ

ペリー来航の前から、多くの異国船が日本周辺に出没していました。外国の脅威にさらされる中、国論は2分され、江戸幕府という老木は倒れる寸前でした。

1853：クリミア戦争

プチャーチン(露) 長崎来航：1853

黒船来航：1853

ビートル(米)浦賀に来航：1846

江戸湾の警備強化：1847

1842：アヘン戦争

異国船打払令撤廃：1842
(薪・水の給与許可)

異国船打払令：1825

フェートン号(英) 事：1808

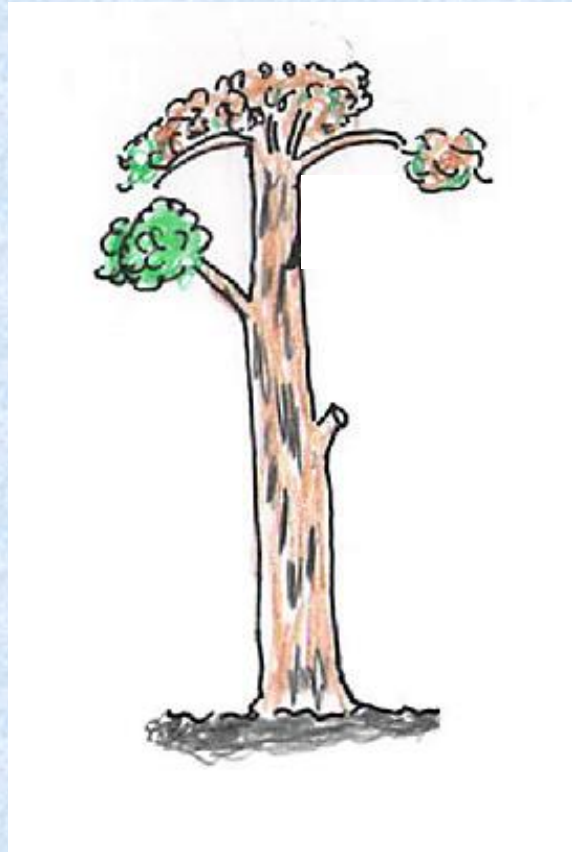


展示内容

ペリー
「日本遠征記」

ペリー艦隊
の行動

観音崎台場
品川台場群



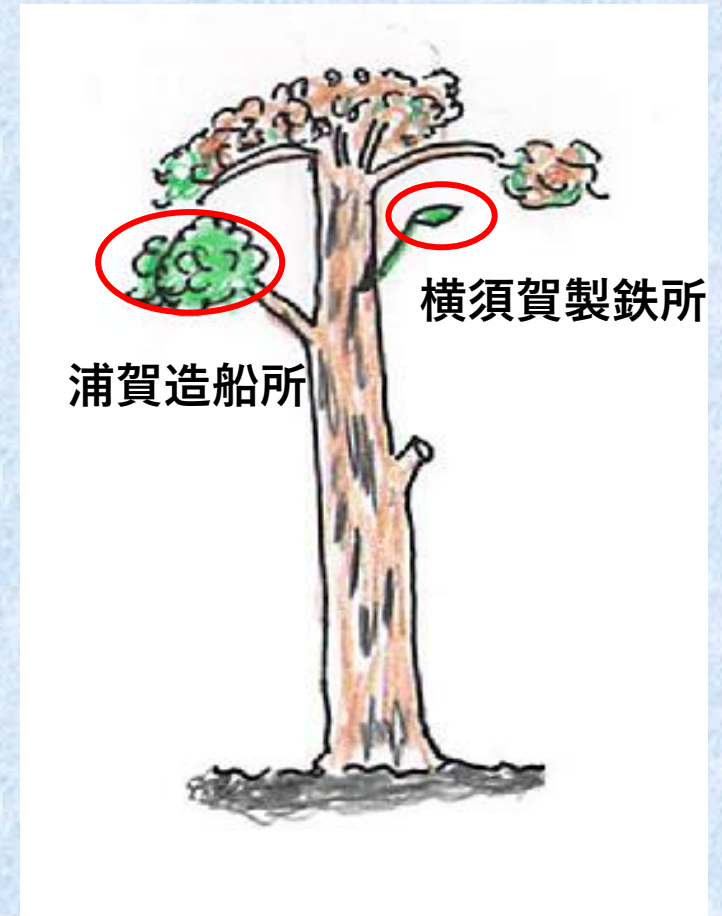
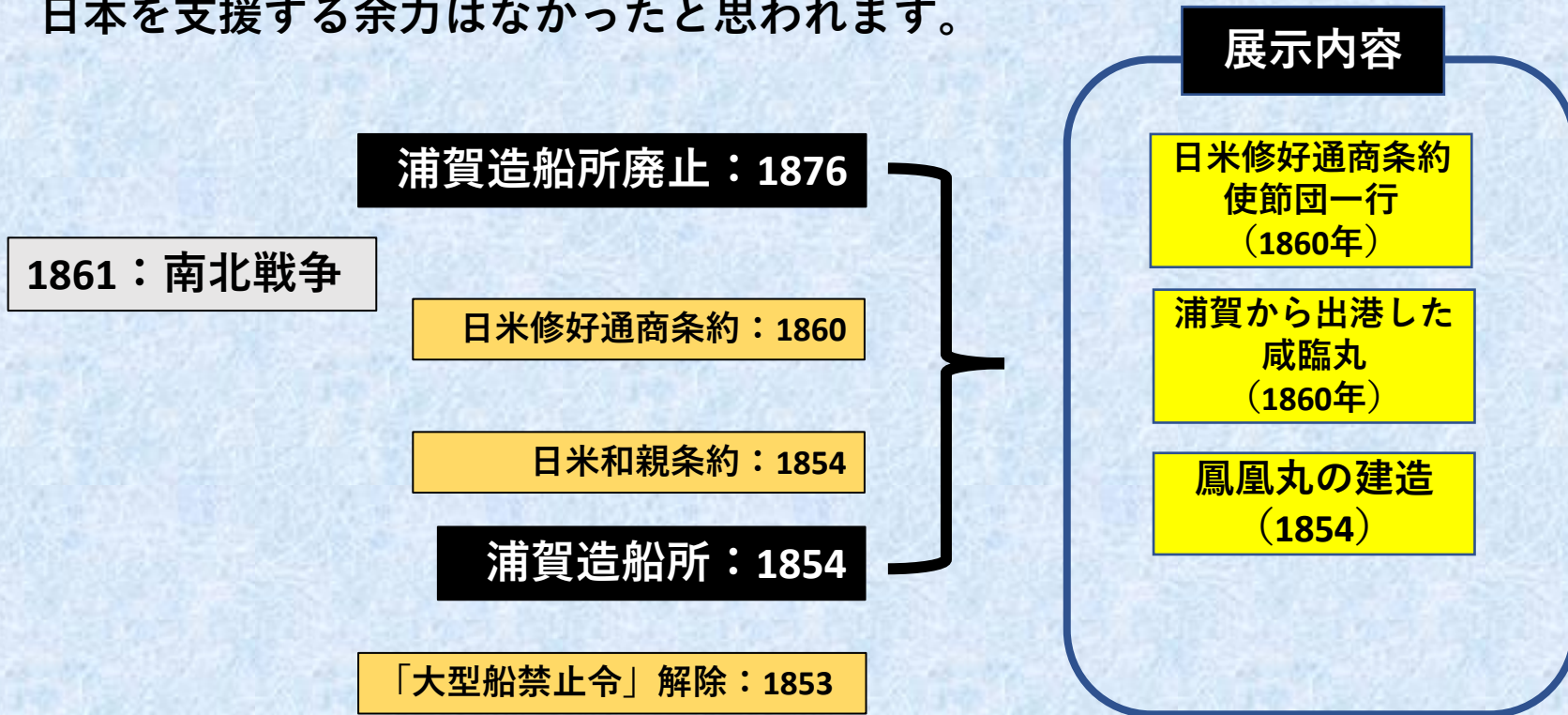
【浦賀造船所】

外国船の脅威を感じた幕府は「大型船禁止令」を解除し浦賀に小さな造船所を建設します。

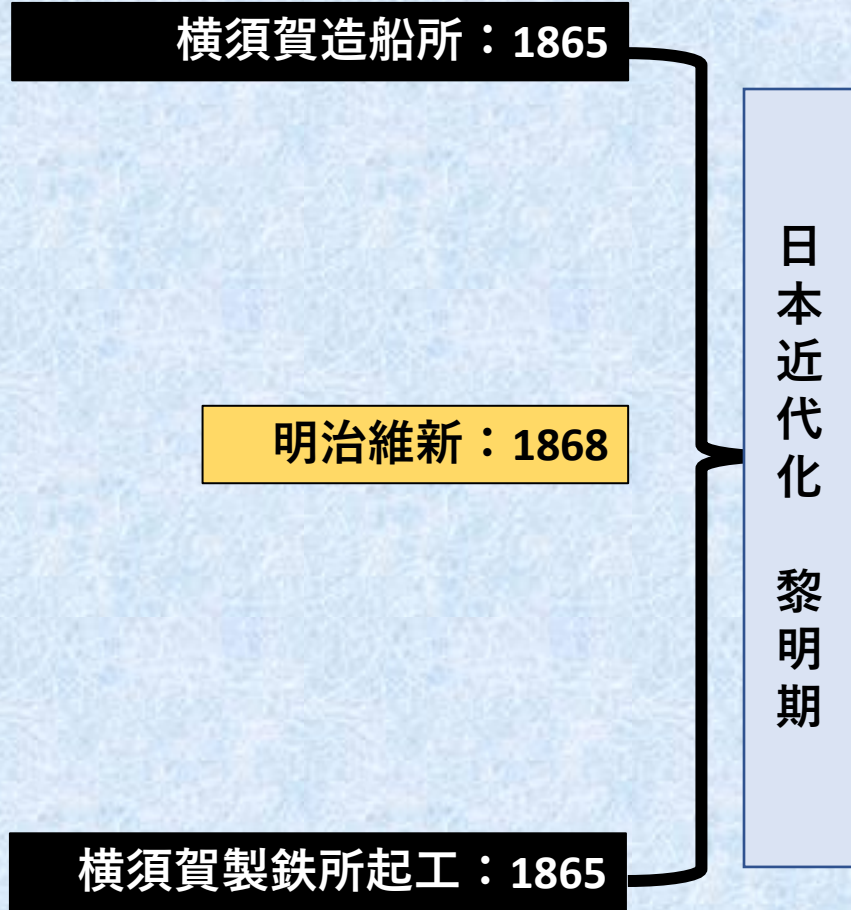
【横須賀製鉄所】

その後小栗上野介が心血を注いだ横須賀製鉄所が、フランスとの技術提携により江戸という老木に接ぎ木をする様につくられていきます。

当時米国は南北戦争のさなかであり日本を支援する余力はなかったと思われます。



明治維新の混乱を乗り越えて 日本近代化黎明期を支えた横須賀製鉄所



展示内容

近代化の 芽生え

- ・西洋式労務管理
- ・日本初の技術教育
- ・富岡製糸場と製鉄所
- ・その他

最初の本格的
1号ドック

フランスの
技術者

初期の製鉄所

小栗と
ヴェルニー

浦賀から
横須賀へ

明治維新を乗り越え
成長した
横須賀製鉄所



日露戦争までの約三十年間、横須賀造船所はまさに日露戦争を勝利に導く陰の立て役者でした。

1884：清仏戦争

横須賀造船所：1871

日清戦争：1894

三国干涉：1895

日英同盟：1902

横須賀海軍工廠：1903

日露戦争：1904

日本海海戦：1905

臥薪嘗胆期

日本近代化揺籃期

展示内容

日露戦争を支えた横須賀造船所の技術

東京湾の防備
・千代ヶ崎砲台
・海堡

近代化の象徴
横須賀造船所

横須賀造船所時代



1939 : WW II

終戦 : 1945

軍縮条約から脱退 : 1936

ロンドン海軍軍縮会議 : 1930

日英同盟失効 : 1923

関東大震災 : 1923

ワシントン海軍軍縮会議 : 1921

1914 : WW I

八・八艦隊構想 : 1905

日本海海戦 : 1905

日露戦争 : 1904

横須賀海軍工廠 : 1903

無条約期

海軍軍縮期

海軍拡張期

展示内容

空母信濃

国威顕彰の碑

海軍航空技術敝

空母鵬翔

大震災の横須賀

軍縮を生き延びた戦艦陸奥そして爆沈

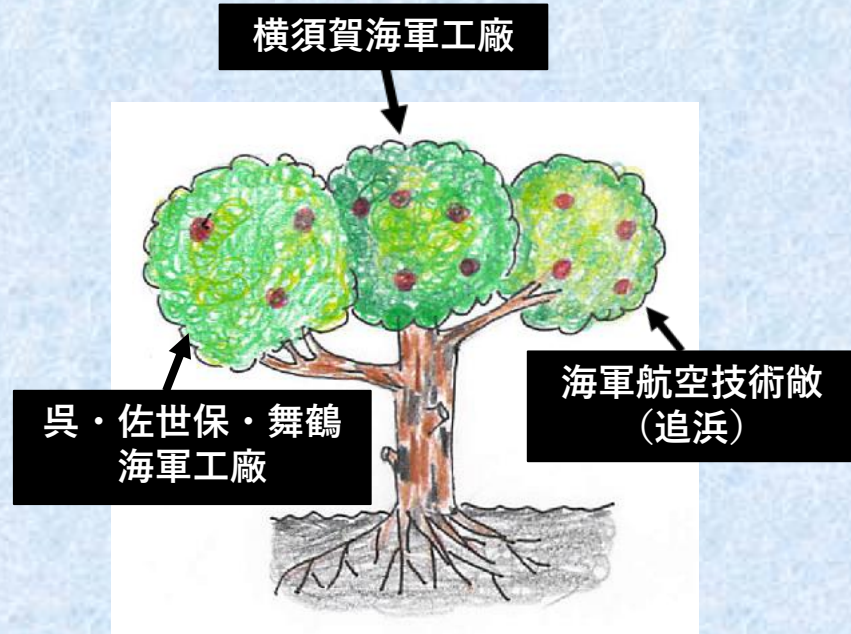
地中海に派遣された特務艦隊

輸入から国産へ

米国白色艦隊の来航

連合艦隊解散の辞を読み解く

●横須賀造船所から各海軍工廠 追浜海軍航空技術敝へと、また時代は海軍拡張期、海軍軍縮期そして無条約期へと紆余曲折を経て敗戦へ・・・。



敗戦により日本は廃墟となりますが、
横須賀はその中であって進駐軍の異文化を取り入れ
たくましく復興していきます。

終戦・異文化との融合

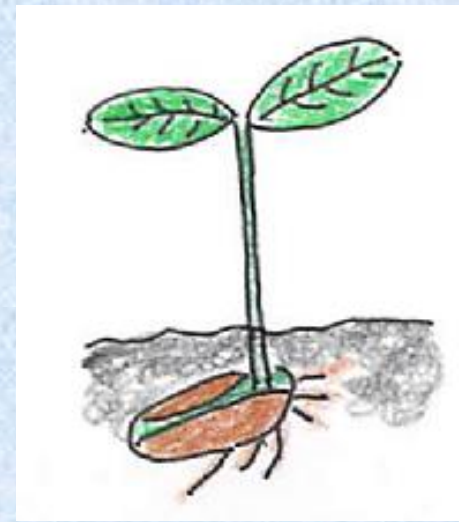
戦後の混
乱期

展示内容

異文化を
取り入れ
た横須賀



戦後の復興を支えたのは、戦前に育った人材とその技術でありました。その種は再び若木となり、日本の復興を支えて行きます。



戦後の復興を支えた人材と技術

経済成長期

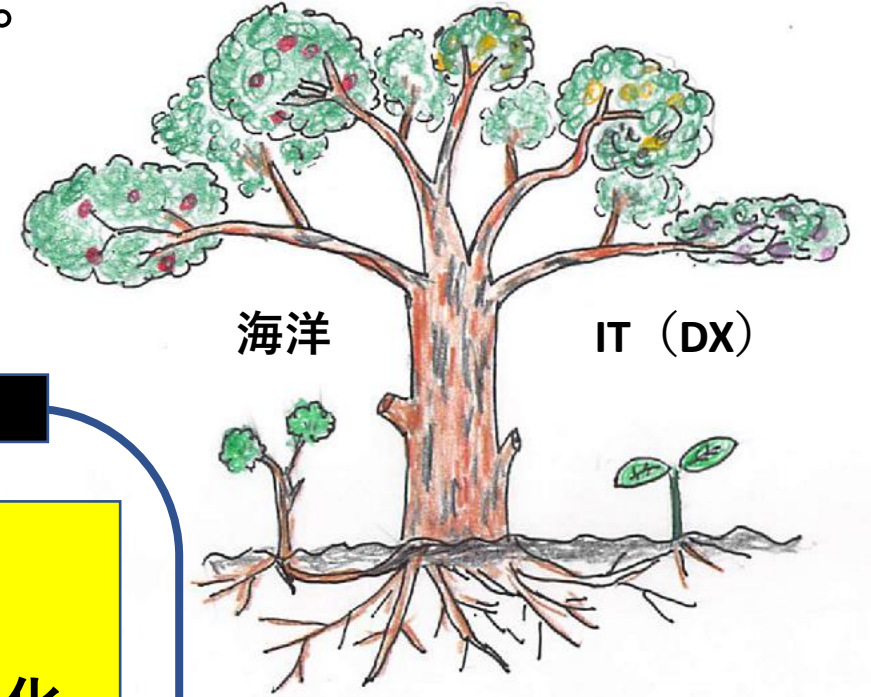
戦後復興期

展示内容

- ・教育のマザーランド横須賀
- ・今につながる技術
艦船を支えた技術
航空機を支えた技術

その後、日本は技術立国として大きく躍進しました。

大きく世界の情勢が変化している今、海洋立国を支え、持続可能な世界を実現するには新たな技術の融合が求められています。



展示内容

海洋立国日本を支える

持続可能な世界を目指して

- ・ 新たなIT技術
- ・ サイバー空間の安定化
- ・ 海洋開発
- ・ 海洋の安定化

- ・ 新たな技術の融合

横須賀の近代歴史を紐解き

持続可能な社会

発展のためのヒントを

バーチャル歴史・未来館の旅

から得ていただければ幸いです。